

⑤ 日本国特許庁 (J P)

⑥ 実用新案出願公開

⑦ 公開実用新案公報 (U)

昭62-96681

⑧ Int. Cl.

識別記号

庁内整理番号

⑨ 公開 昭和62年(1987)6月19日

G 09 F 9/00

3 1 2

5731-5C

G 09 G 1/00

H 04 N 5/64

F-6517-5C

発注請求 未請求 (全3頁)

⑩ 考案の名称 表示ユニットの支持機構

⑪ 発 願 昭和60-180105

⑫ 出 願 昭和(1985)12月5日

⑬ 考 案 者 山 田 源 兵庫県加東郡社町佐保35番 富士通株式会社内

⑭ 出 願 人 富士通株式会社 川崎市中原区上小田中1015番地

⑮ 代 理 人 弁理士 芳 村 貞一

⑯ 実用新案登録請求の範囲

表示ユニット1を搭載した受台3と、該受台3を支持するベース4とを装備して成る表示ユニットの支持機構であつて、

該支持機構は、互いに対向する側に一対の右雄ネジ10aと左雄ネジ10bとが形成されて成る受台3およびベース4と、前記雄ネジ10a、10bに対向する一対の右雌ネジ11a、左雌ネジ11bを有して成る昇降用リング8とを具備し、

昇降用リング8の回転によつて、前記一対の雌ネジ11a、11bに螺入された雄ネジ10a、10bを介して前記受台3が上下方向に移動する構成にしたことを特徴とする表示ユニットの支持

機構。

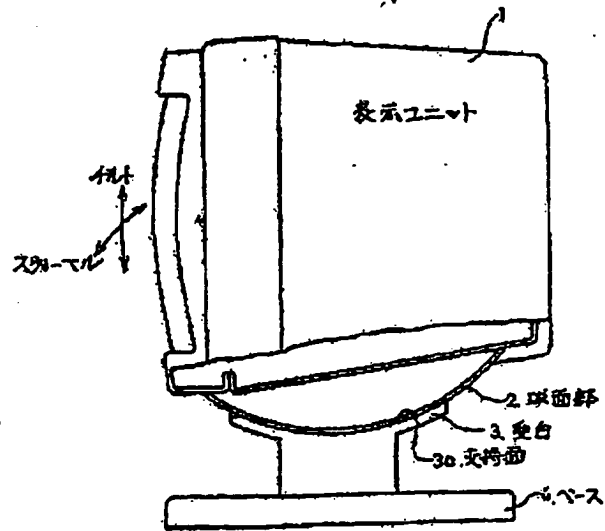
図面の簡単な説明

第1図は本考案の実施例を示す要部側断面図、第2図は本考案を適用した表示装置の概略を示す斜視図である。第3図は従来の支持機構の構成例を示す要部側断面図である。

図中、1は表示ユニット、2は昇降部、3は受台、3aは支持面、4はベース、5は昇降用リング、6はガイド、7はストッパ、7aはピン、7bは案内溝、8はパネ、10aは右雄ネジ、10bは左雄ネジ、11aは右雌ネジ、11bは左雌ネジをそれぞれ示す。



第3図



受台の支持機構の構成例図